







もつと言いたいことがあります。これぐらいにしまして監督十二年間を通して、嬉しいこと、悲しいこと、怒りたいこと等がありました。しかし、一期一会と言うフレーズが示すように、何と言っても生徒の皆さんとの出会い、OB会、同窓会の皆さんとの出会い、保護者、地域の方々の出会いは一生忘れぬものとなるでしょう。

先日新潟県で頑張っている小巻君から電話があり、いろいろと話をしていて途中で、「先生、僕も四十六歳になりました。」「ホントかいな、速いな年の経つのは・・・」等々、電話での話が終わり、一人で余韻に浸っていると、彼自身の人間的成長、人間性を感じ、他の卒業生もどんな暮らしをしているのかなと頭によぎるものがありました。

最後になりましたが、高等学校教育を取り巻く状況が激しく変化する中で、山城高等学校が、これまでのすばらしい歴史と伝統を生かし、新たな将来への飛躍を勝ち取り、併せて同窓会の発展を心から期待して筆を置きたいと思います。

